

べんがら雀 餌がい 前同

右紅雀のうち也、よほど鳥大き成物也、諸事紅雀同事○中

玄やがたら雀 餌がい 前同○キビ、モミ、

大き和のさしいに似て、總身かき色に、むねより脇はらの下まで鱗のふ有、又あしきはうろこの形なく、かきいろにてあし、上背黒く、下背紺色にて太し、足も紺色なり、腹うす白し、巢もなす鳥也、文鳥のごとく春秋に子をなす、玄かし巢をなす鳥は、十姉妹と違まれ也、横に口を明たるふごを釣べし○中 巢ぐさはところの毛、玄ゆるの毛多く入置べし、又かれ芝、笹の落葉、わらは九寸位に切て、はかまみご共に入べし、子はかへりても文鳥のごとく、きび、あわのもやしを飼ふ也、ゑごまもよし、

せうき雀 餌がい 前同

大き總たひ鳥の形、さんばら碧鳥に同じ、諸事似たる物也、總身とび色のこき色にて、頭よりむねのうへまで黒く、背鼠色にて太し、薄く紺いろなるもあり、巢はなさず、よろしからぬ物なれども、めづら舗類なり、此類の鳥、巢はみなく、能作る物なれ共、巢計作て其内へ入、一日あまり出ざるものにて淋し、

〔飼鳥必用〕中 紅雀

此鳥唐鳥にては秋の頃にも候哉、群立渡來ルよしなれども、日本江澤山に不渡、餘多のうちには巢組に、宜敷鳥も可有に、無多事故思ひつきて庭籠に放し不申、夫故日本にて子をとつたる事未不聞、拙○比野 案するに、長崎江相渡たる歳若鳥を見極メ、直に庭籠に巢組に還しなば、手前に飼置て、慥成所を見極メ、夫より庭籠へ放シ候故、年後になり子出來兼可申哉、何れ十姉妹類の小鳥は、四五才以上は産巢には不用立、貳才年第一宜敷聞傳へ、思ひ付ては居たれども、求得ざれば無